

大規模言語モデルを活用した診療録解析の有効性検証

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

生成 AI の一部である「大規模言語モデル」の進化が近年注目を集めています。大規模言語モデルとは、膨大なデータセットを使った機械学習を通じて、精度を高めた自然言語処理モデルのことです。例えば、テキストの生成や文書の要約、質問への回答や翻訳、文法の修正といったタスクを処理することが可能です。

診療記録には、医療者が観察した内容や判断結果、行為など膨大なデータが記録されています。記録が検査・治療機器ごとに分かれている場合もあり、現状は医療者がそれらを参照して、総合的な判断の下に治療が行われています。大規模言語モデルを活用することにより、医療者が診療記録から患者さんの状態を解釈し、理解する時間を短縮することが可能とされます。それにより診断や治療に時間を使うことができ、患者さんへより迅速な治療提供に繋がると考えています。

今回、大規模言語モデルを用いて診療記録を解析し、退院時サマリなどの要約文書がどの程度の正確に作成できるか、また、疾患や合併症の推測能力を検証します。当院が保存している診療記録を使用するため、新たな情報収集や検査のご協力をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2012年11月～2026年12月に検査・加療目的で入院した症例

使用する試料・情報

各種診察記事、年齢、性別、病歴、臨床的重症度、ADLなどの基本的な情報や血液検査等の診療に関する情報

利用開始予定日：2023年9月29日

研究予定期間

2023年9月29日～2028年3月31日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが、氏名や生年月日等の個人情報を可能な限り削除した上で使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、その際は個人が特定されないよう氏名等を完全に削除した情報や集計結果のみを用いますので、患者さんのプライバシーは守られます。

〔研究の情報管理責任者〕 医療情報調査分析研究所 小妻幸男

〔当院の個人情報管理責任者〕 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用・提供されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用・提供を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 医療情報調査分析研究所 小妻 幸男

住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000(代表)